



宝石専門チャンネル「ジュエリー☆GSTV」を運営する株式会社GSTV様は、テロップシステムVWS-1000を2018年4月から運用し始めました。すでに、メディア管理/送出用にMediaConcierge、メディアアーカイブにLTS-60をご活用いただいております。今回のVWS-1000と組み合わせ、テロップ運用の効率化を図っています。

【ご活用いただいている主な機材】キャラクタージェネレーター VWS-1000、メディア管理ソリューション MediaConcierge、LTOサーバー LTS-60



テロップシステムVWS-1000とメディア管理システムMediaConciergeを連携

メディアアーカイブにはLTOサーバーLTS-60を活用

「VWS-1000とMediaConciergeを組み合わせることで、番組情報に合わせて、必要な商品情報と商品映像が時系列に並ぶようにすることが最大の目的でした」と話すのは、テレビ制作部の渡邊茂久次長です。VWS-1000とMediaConciergeのシステム連携の狙いについて次のように話しました。

「番組は5人のスタッフで制作し、それぞれがカメラ、スイッチャー、VE、音声の全てを担当できるようにしています。そのため、誰もが間違えずに操作できるようにする必要がありました。これまではスイッチャー操作をしながら、別の画面で商品番号を検索して、映像を呼び出してスタンバイしていました。そこで、番組情報を元に商品情報や映像がリスト化され、タッチパネル操作で再生できる機能を追加していただいたことで、スイッチングに集中できるようになりました。」

■L字テロップ運用に活躍するVWS-1000

VWS-1000は、販売中の商品情報、購入受付の電話番号、お問い合わせ混雑状況、受付残り時間、番組名などが表示されるL字テロップの制作/送出用に導入されました。

「生放送だけにCG情報の間違いは許されません。VWSシリーズの安定動作の実績から、VWS-1000の導入を決めました。」(渡邊氏)

番組企画がまとまり、番組中に取り扱う商品が決まると、番組情報ファイルが作られます。このファイルを元に、MediaConcierge上で

必要なテロップが自動的に検索され、ポン出しのリストとして表示されるようにしています。テロップ挿入はこれまで、テロップ操作とは別の画面で、商品番号から素材を検索して用意してきました。

「生放送をしているので、販売状況を見ながら、当初の予定にはない商品を紹介するケースもあります。制作チームから差し替え用のデータを送ってもらって使用したり、過去1カ月分の番組データは残しているので、検索して必要なデータを読み込んで使用します。MediaConciergeとの連携により、予定にはない操作もしやすくなりました」(渡邊氏)

■ポン出し利用も行うMediaConcierge

GSTV様は、ジュエリーのショッピングチャンネルの番組制作のほか、番組中に使用されるジュエリーの商品映像も自社内で制作しています。MediaConciergeは、この商品映像のメディア管理と同時に、VTR送出部分も担っているのが特長です。

「番組内では、手に持った商品に合わせて照明を変えることはできないので、番組冒頭のアタック映像や、商品紹介時のインサート映像などは、商品に合わせた照明で演出して別に撮影します。MediaConciergeと編集機をネットワーク接続し、直接MediaConciergeに登録しています。MediaConciergeが番組情報に基づき、使用する商品映像やテロップを送出順に一覧表示しますので、あとはタッチ

パネルで再生するだけで、必要な映像やテロップが流れます。検索ミスや操作ミスも少なくなりました。」(渡邊氏)

■貴重なロケ素材はLTOアーカイブ

商品映像のアーカイブや、ロケ素材の保存用にはLTOサーバーLTS-60を活用しています。

「途上国での撮影が中心となるジュエリー関連のロケは、採石地や加工場所が政府管轄のケースもあり、大変貴重な映像です。これを確実に長期間保存するために導入しました。再び訪れることができないロケ地で撮影したテープ素材はすでにLTO保存に変更しました。VTRの保守サポート終了時期も近づいており、アーカイブ作業を進めています」



渡邊茂久氏

通常の放送局に比べて少ない番組スタッフで放送しており、特殊な使用方法になっています。朋栄様には、こうした特殊なケースにもしっかり対応いただき満足しています。